協同学習ワークショップ〈アドバンス〉

－“協同”で学ぶ、“協同”を学ぶ教育実践－

担当者	石田裕久（南山大学人文学部心理人間学科教授） 関田和彦（創価大学）
概要	協同学習では、互いに協力して学習課題に取り組むなかで、「自らの学びが仲間の役に立ち、仲間の学びが自分の役に立つ」経験を通して、教科内容の理解とともに、対人関係をはじめとするさまざまな社会的スキルの育成を図ります。このワークショップでは、クラスを「協同」による主体的な学びの場とするための考え方や技法を、実習しながら学んでいただきます。 この協同学習ワークショップはアドバンス・コースです。受講資格は、すでに日本協同教育学会（JASCE）主催の協同学習ワークショップ「ベーシック」もしくは「基礎講座Ⅰ～Ⅲ」を修了された方とさせていただきます。協同学習法の教育観や具体的な指導法をもっと学びたい方、学級づくりや授業実践に協同学習をとり入れたい方の参加をお待ちしております。 このワークショップは２日間にわたりますが、修了者には日本協同教育学会から修了証が出ます。この修了証はより上級の講座への受講資格となります。
日程	2013年11月16日（土）、11月17日（日）10:00～16:00　土日集中
定員	32名
参加資格	日本協同教育学会（JASCE）主催の協同学習ワークショップ「ベーシック」 もしくは「基礎講座Ⅰ～Ⅲ」を修了された方
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	受講料　12,000円〈税込〉
メルマガ 講座報告	担当講師　石田裕久　記 協同学習は、自己統制と協調が必要とされる課題の達成・相互活動を通して、学習者の自立や自律を促す指導論です。＜アドバンス＞は＜ベーシック＞の修了者を対象として開講されました。ここでは単なる技法としての協同学習にとどまらず、指導方法論としての協同教育について実習を交えながら学びました。 参加された方々からは「ベーシックで聞いたことをより深く、より広い視点から考えることができた」「講義とワークを通じて、技法とその根底にある本質を学べた」「企業の人づくりに協同学習の要素を取り入れて行くことの意味が明確になった」などの感想が寄せられました。